

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



わかち愛のこころとご近所力を高める

～森吉公民館公開講座～

森吉公民館の公開講座「鳥居先生のハートフル講話会」が3月14日、森吉コミュニティセンターを会場に開かれ、参加者80人が、地域で幸せに生きていくことの意味を探りました。

講座では、地域福祉アドバイザーの鳥居一頼氏とりいかずよりが『わかち愛のこころとご近所力を高める』をテーマに、地域と家庭とのつながり、近所付き合いの大切さや地域づくりと町内会など様々な角度から講話しました。また、講座の合間には、市社会福祉協議会スタッフによる即席劇団が寸劇を披露し、会場は大い

に盛り上がりました。参加者は支え合いと助け合いの大切さを実感し、心あたたまる講座となりました。



▲地域と家庭とのつながりについて語る鳥居氏

白石光隆ピアノリサイタル

～浜辺の歌音楽館第87回定期演奏会～

浜辺の歌音楽館第87回定期演奏会「白石光隆ピアノリサイタル」が2月22日、浜辺の歌音楽館で開催され、約60人の来場者がピアノの奏でるメロディに酔いしました。

今年度は、成田為三生誕120周年と浜辺の歌音楽館が開館して25周年記念となる節目にあたります。

演奏会では、白石さんのトークを交えながら14曲が演奏され、前半はドイツ留学をしていた成田為三にちなみ、ドイツ作曲家の作品や成田為三の『浜辺の歌変奏曲』を、後半は浜辺の歌音楽館が初演とな

る曲「長生淳作曲の『春紡ぎ』」が披露され、記念する年にふさわしい演奏会になりました。



▲ピアノ演奏で来場者を魅了した白石氏

地域の特産品に育てたい

～山ぶどう漬けフェスタ～

大阿仁地区の家庭で作られている「山ぶどう漬け」を知ってもらおうと、大阿仁公民館主催の「山ぶどう漬けフェスタ」が2月23日、内陸線比立内駅の交流スペースで行われました。

「山ぶどう漬け」は、大根の一夜漬けに山ぶどうの砂糖煮をからめたもので、山ぶどうの色とほのかな甘味、パリッとした食感が特徴です。

当日は、地元の主婦たちが持ち寄った「山ぶどう漬け」や「ビール漬け」を50人以上の来訪者に振る舞いながら、漬け物談義に花を咲かせました。ま

た、「今年の秋はぜひ特産品として売り出したい」などと商品化について意欲をのぞかせていました。



▲山ぶどう漬けなどを味わう参加者

高齢者大学受講生募集！

◎5月から開催します

平成26年度高齢者大学を各地区で開講します。

受講を希望される方は、各公民館へお申し込みください。

運営費(参加費)は、いずれも千円です。

○高鷹大学

テーマ

「仲間との絆を深め、ともに学ぼう」
内容 全体講座など年6回程度。
クラブ活動は月1～2回。

対象 55才以上の方

受付 4月1日～4月16日

問申 中央公民館 ☎62・1130

○合川ことぶき大学

テーマ

「学び続ける喜びの発見と仲間作り」
内容 年8回実施の予定(学習会、移動研修、スポーツレクなど)

対象 55才以上の方

受付 4月1日～4月25日

問申 合川公民館 ☎78・2114

○森吉大学

テーマ

「ふるさとに生きがいを求めて学ぶ」
内容 年6回実施の予定(講演会、移動研修、学習会など)

対象 55才以上の方

受付 4月1日～4月25日

問申 森吉公民館 ☎72・3259

○阿仁生き生き大学

テーマ

「こころ豊かにともに学びあおう」
内容 年6回実施の予定(講演会、移動研修、スポーツ交流など)

対象 55才以上の方

受付 4月1日～4月25日

問申 阿仁公民館 ☎82・2220

中央公民館通年講座の募集

問申 中央公民館 ☎62・1130

○母と子のわくわく広場

入園前(満1歳以上)の子どもと保護者を対象に、親子で身体を動かし、遊びを通したふれあいを大切にする講座です。

開催日 毎月第2月曜日

4月は14日(月)に行います。

時間 午前10時～11時30分

場所 中央公民館

定員 30組

参加費 無料

公民館使用料減免登録申請

問い合わせ、申し込みは各公民館へ

公民館を使用する団体で、今年度「公民館使用料減免登録証(カード)」の交付を希望する団体は、各公民館に申請してください。
昨年度交付された団体であっても、新たに申請が必要です。

ふるさとの文化財

73

秋田県指定無形民俗文化財

(民俗芸能)

○「阿仁前田獅子踊り」

◇所在地 北秋田市阿仁前田
◇管理者 阿仁前田獅子踊り保存会

〈内容〉

獅子踊りの巡行は、参勤交代の行列を真似たもので、とても賑やかな格式の高いものとされ、この行列を「ぶつ込み」または「通り」と言っています。

※参勤交代、幕府が大名に課した義務のひとつで、隔年ごとに石高に応じた人数を引き連れ江戸屋敷に出席し、一定期間居住して將軍の統制下に入る制度。大名の領地を移し替えることを国替えという(大名統制策)。

〈起源〉

慶長7年(1602年)佐竹義宣が水戸(現茨城県)から秋田に国替えを命じられた時、主君を慰めると同時に行軍の士気を高めるために演じられた道中芸が始まりとされています。

〈構成〉

豊作祈願と厄払いの踊りで、獅子舞、奴踊り、駒踊り(駒踏み)、棒使い(八つ払い)、万歳、神楽

などがあり、これを総じて獅子踊りと呼んでいます。獅子舞の雄獅子、中獅子、雌獅子は、五穀豊穡と獅子たちの恋の葛藤を演舞で表しているといわれています。
佐竹義和が阿仁地方を訪れた時、この芸能を披露したところ、とても気に入られたという話が伝わっています。

*佐竹義宣(よしのぶ)
出羽久保田藩主初代・佐竹氏20代当主
*佐竹義和(よしまさ)
出羽久保田藩主9代・佐竹氏28代当主

◇毎年8月13日公開(地域内各所で演ずる)。北秋田市民俗芸能大会へ過去2回、秋田県民俗芸能大会へ数回出演。市内地域行事へ参加。
▽昭和39年秋田県無形民俗文化財指定
▽資料/北秋田市教育委員会作成資料、国際教養大学総合報告書保存会聞き取り、「広辞苑」ほか
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二



▲阿仁前田獅子踊り